

# 大野木グラウンドワークだより

平成 20 年 10 月 1 日 発行 NO 24

発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

9 月 28 日（日）くもり、秋は何かと行事が立て込んで来て予定していた「創造会議」のメンバーは都合つかなくなりました。

加えて、吉田さん、樋口さん、中嶋さんそれぞれにご予定が重なり、照寿さんは目の治療ということでスタート時からスタッフ不足での作業となりました。

いつも、いつもフルメンバーとはいきませんが前日に吉田善次さんがお一人で草刈をしておいてくださいました。

朝一番に木之本から三屋さんがお越しくださいました。

三屋さんは多賀で生まれ、京都にながくお勤めになり郷里である木之本の実家に帰られいろんな活動をなさっておられるとのこと。

現在、「うこっけい」を飼育されており、休憩時にそのお話を伺いました。

無農薬、有機肥料から貴重な卵が生まれるとのこと、手間ひまをかけてこそ「食の安全」が確保されることを改めて知りました。

作業は観察デッキのですりづくり進みましたが、垂木が不足し急遽買出しに。

竹きりシーズンにはいりましてチェンソーも手配できましたが、伊藤さんが試しきりしてくれただけで、本格的には次回以降に繰り延べ止む無しとなりました。

炭窯のことも含めて、あせらずコツコツやっていきたいと思います。

お昼は栗ご飯です。里芋、なす、カボチャ、きゅうり、トマト、ピーマン、玉ねぎ紫とうがらしと地産の安全食品ばかり。特筆は揚げカボチャの大根オロシ、なすびのカラシつけは「アチャラづけ」というそうでこれはカラシがピリッときいてつまみにも最適ですよ。

2 年生の実乃里ちゃんが大活躍してくれました。

ご飯、おかずの配膳から食事中のお話アイドル、後始末の机ふきとなんでも手伝ってくれました。おばあちゃんの指導教育はすごいですね、

かわいい手で肩もみもしてくれました。疲れがすーっと取れました。

ありがとう みのちゃん。

子連れ、孫連れ大歓迎です。こどもたちとのほほえましい場を大事にしていきたいと思えます

## 会員寄稿

### グラウンドワークと子育て支援

グラウンドワークの一環として、子育て支援活動を平成19年4月よりグラウンドワーク活動をしている3組の夫婦で始めてから1年と5ヶ月になりましたが、今日までに数多くの素晴らしいことがありました。子育て支援を始めました時から、来て頂きました3名のお母さんが今年、赤ちゃんをご出産されたこと、又お子さん達の成長過程をつぶさに見せていただいたこと。来ていただけるお子様が幅広い年代の子達の為幼い子は、大きい子のする事を見て色々なことが出来るようになり、大きい子は下の子を教え、世話をして自ら思いやりの心を養っていく、前回、目を見る子供と題して書かせていただいたとおりに子供たちは成長をしていく、毎回来ていただく2歳になる女の子を見ているとつくづく感じます。

私の孫も7ヶ月の時に子育て支援に寄せて頂きました、この10月で2歳になります。私が智くん（智之）の世話をし始めてから6ヶ月になります。智くんも、子育て支援に来てくれる子供たちと同じように成長をしてくれました。我が子、我が孫のお話をしますと、奈良の興福寺さんだと笑われますが、少しお話をさせていただきます。

智くんも片言を話せるようになりました。智くんと私の一日を紹介します。智くんは夜と昼寝は二階で寝ます、起きると階段の所まで来て、「ママ、ママ」と私を呼びますので「ハイ」と私が二階に行きますと、両手を振り喜びます。抱きながらおりてきますと、智くんは座敷に行き神様に手を合わせてお辞儀をします、そして仏様にも手を合わせてからダイニングルームにきます。私が部屋の掃除をする時は、ソファーに座り「お母さんと一緒」を見て歌っています、私が終わりと言いますと、ダイニングルームと寝間の扉を開けて、カタカタや自動車に乗り走ります。段差が無いのと18畳のダイニングルームと玄関のフロア、寝室とが一直線になりますので、思い切り走りますし、ブランコに乗ったり滑り台に乗ったり元気に遊びますが、目が離せませんので大変です。

又、毎日色々な絵本を私の膝に持ってきます、絵本に書かれてある絵を「これは何ですか、教えて下さい」と言いますと、得意げに教えてくれます。「智くんはおりこうさんですね」と頭を撫ぜながら言いますと、得意そうに私の顔を見ます。お昼寝から起きておやつを食べた後、「お散歩に行きますよ」と言えば帽子をかぶり、玄関に座って靴を履かせるのを待っています。

保育園の横を名鉄電車が通っていますので、電車を見ます、電車が来ると両手を振り「バイバイ」と叫びます、駅が近いため電車はゆっくりと走りますので、乗客の方が手を振って下さいますし、時々運転手さんも手を振って下さいます。

帰りますと、中学校の下校時間で生徒さんが帰ります、その生徒さんに何やら分からないことを話しかけます。相手になっていただく女の子に上機嫌で話しますが、最後の「バイバイ」だけが分かります。この様にお話しますと、とても良い子で楽な子育てと感じられますが、良いこと 50 で悪いこと 50 です。

泣くことは無いのですが少し気が短いようで、気に入らないときは物を投げますのでダメと怒りますと、私の顔を睨みます。「智くん怒っているの、何が気に入らなくて怒っているの」と聞きますと、私を叩こうとしますので「智くんはまだ怒っているのだ、なぜかな智くん」と頭を撫ぜますと、ニターと笑い膝の上に座ります。毎日この様なことを繰り返していますが、この繰り返しの内に子供は色々な事を覚え成長していきます。日々が疎かに出来ない子育てです。

感謝の気持ちで智くんと遊んでいます。子育て支援に来てくれる子供たちに対しても同じ心で成長を願っています。

大野木の子育て支援に、グラウンドワークのイベントにもこれからも参加させて頂き、大野木の子供たちと、自然の中で色々な事を感じ元気に遊ばせていただきたいと思います。碧南にも自然を利用した公園がいくつか有りますが、安全性を重点に管理された公園です。グラウンドワークの公園のように自然の中で遊ぶような感じはしません。自然の香りが感じられないのです。グラウンドワークで子供たちと自然の中を走り回り、皆と共に大きく成長をしてくれたら願っています。

小澤八重子

[gw-news@groundwork.or.jp](mailto:gw-news@groundwork.or.jp) 日本グラウンドワーク協会

だより 23号 <http://www.groundwork.or.jp/dataf/documents/oonogi.gw.pdf>

からご覧いただけます

## 防災と地域力について

9月1日は「防災の日」でした。日本列島は地震、竜巻、水害が続いています。東海、関東に連日豪雨の報道。全国21の観測点で記録更新したゲリラ豪雨。最近のキーワードは「他人事ではない」ほんとにそうですね

この時、アメリカでは大型ハリケーン「グスタフ」の本土上陸に備え南部4州に非常事態宣言を発令。何と「カトリーナ」の被災から3年のニューオーリンズでは190万人の住民が逃げ出しました。

米原市も東南海、南海地震の防災対策推進地域となっています。

柳ヶ瀬、関ヶ原断層帯にあり、琵琶湖西岸断層帯が動く確率は9%で全国7番目という。これが動くと米原市は7.8M 5弱～6強と大きな地震に襲われることとなります。加えて「ひずみ集中帯に滋賀県がすっぽり入っています。

30年以内の発生確率は東海が87%、東南海が60～70%、南海が50%で3地震が連動して発生する可能性もあると言われています。1707年の宝永地震は3地震が同時に発生連動しています。

全国98ヶ所の大規模な活断層帯を「主要」と位置づけ、発生確率と規模を調べる「長期評価」が進められてきた。

しかし、鳥取西部(00)、新潟県中越(04)、福岡県西方沖(05)、能登半島(07)、岩手・宮城内陸(08)の全てが長期評価の対象外の場所ばかりであった。

それだけ地震予知は今なお難しく解明し得てないものだといえます。

全国に活断層は2千あるといわれていますが、それがいつ動くか。また、わかっていないものがまだどのくらいあるのか。

太平洋プレートが潜り込んでくる動きが大きくなると、日本列島が押し上げられる。その時、井戸水が枯れる現象がおきるのでは。すると前兆として「井戸水を見る」雨が降っていないのに山から「濁り水」が出てくるなどのプレートの動きに連動した地形地物の現象変化のメニューを細かく選び出して、小中学校、地域に数多く観測地点を設けて観測データを収集することによって一定の成果が出るのでは。

もし大規模な地震が発生したらどうするか。とにかく「自前でやるしかない」のであります。阪神・淡路では地域住民が15分以内に引っ張り出したのが77%でそのうち8割が生存している。自衛隊、消防隊の引っ張り出しはほとんどが遺体であったといわれている。

能登半島地震で高齢者が 50%以上の輪島市門前町では「高齢者要援護者マップ（福祉マップ）」が役立ち、死者、行方不明者はゼロであったと報告されている。マップと訓練で地域の防災力を高めることが出来た事例として高く評価されている。

大きな地震が起こればその対策は、応援はとなると、まず当地への応援は無理であるとみなければ、ですから普段から近所のお付き合い組寄りネットワーク、互助が唯一有効な対策といえます。

すぐにもやれること、二階で寝る・タンスをどけるか、止める・家族で話し合う・訓練には参加する

それに枕元には三点セットを置いてください。

1 圧底のスリッパ 2 ホイッスル 3 懐中電灯

9月1日全国各地で59万人の人が参加して防災訓練が行われました。テレビで見ているとヘリコプター、艦船、ビル、電車も含めて死者2万人を想定した大規模な訓練であった。

東南海、南海地震は過去8回起きているようで90～100年サイクルだそうで、前回1944年が小さかったのでそのストレスが溜まっているようです。具体的に次は2030年のプラスマイナス5年というから2025年が危ない、後17年後です。

わずか6分で10m超の大津波が来ると言われ、津波は5時間続きます。梅田の地下街は水没します。停電は長期化し交通は麻痺状態に。

大野木では8月31日朝8時「訓練、訓練、緊急地震速報、緊急地震速報、まもなく大きな地震がきます」と八重子さんのキリリとした声で区民一同が訓練に参加しました。

組ごとの消火訓練で自信がついた、もっと年に2回やったらどうかとの意見。また筒先の修理、ホース不具合なども見つかりました。

大野木では6割強の248人が参加されました。どんなハード（装甲車）よりもコミュニティの力（ソフト）が威力を発揮することになると思います。

防災について、さらにいろんな角度から幅広い議論と行動が必要であると感じました。

これまでのお楽しみメニューのおさらい

### 棒焼きパン

材料：6人分

強力粉 100g、薄力粉 100g、ドライイースト 小さじ1弱、砂糖 大さじ3、塩 小さじ1/3、バター30g、水 120cc

手順

- 1 水以外の材料をあらかじめ家ではかってビニール袋に入れて持っていく。
- 2 焼く 40分ほど前に水を1割ほど残して、袋の外からもむ。かたいうようなら残りの水で調整する。
- 3 耳たぶほどのやわらかさになるまでもむ。夏ならそのまま放置し、冬ならふところに入れて抱き発酵させる。
- 4 2倍ほどにふくらんだら棒にくるくるまく。
- 5 残り火で焼く

### 手打ちそば

- 1 こね鉢にそば粉と小麦粉（つなぎ）を十分にかきまぜ、粉の真ん中にくぼみをつくり水を入れてはよくほぐし、パン粉状になるまで繰り返す
- 2 耳たぶ位の柔らかさになるまでよくこねる
- 3 左手で支え、右手で回転させながら空気抜きを100回
- 4 手のひらを使って中央から押しつぶしながら丸くする
- 5 打ち粉を多めにふり、めん棒で丸くのばす
- 6 手前から軽くたたくようにころがす
- 7 4ヶ所を順番にやると正方形になる（ツノダシ）
- 8 広げたそば生地にたっぷり打ち粉をまぶし、包丁の幅に合わせて折り畳んでいく
- 9 駒板を使って千切りの要領で切っていく
- 10 大きな鍋で少しずつ（2人前くらい）ゆでるのがポイント
- 11 沸騰したお湯にそばを少しずつ入れ、はしでほぐしながらゆっくりませる
- 12 いちばんのポイントはそば生地の固さ加減

## 黒砂糖のウイロ

材料：薄力粉 100g、黒砂糖（粉）80g、水 300cc、牛乳パック 1000mL入り

作り方

- 1 小麦粉、黒砂糖を混ぜ合わせふるいにかける
- 2 水 300cc を少しずつ入れながら混ぜ合わせる
- 3 牛乳パックを横にして流し入れ口をとじる（口はテープで止める）
- 4 電子レンジ（強）で7分30秒かける（開け口を上にして）
- 5 自然にさましてパックから出し切る
- 6 抹茶ウイロは抹茶を少量加えること

## 時事雑感

9月15日リーマンブラザーズは世界に衝撃を与えた。まだCDSという先端クレジットの爆弾破列が起きそうで、これからも波乱が続きそうです。市場の神さまが行き過ぎたマネーゲームを「こらしめた」のだろう。これでしばらくの間（ホリエモン）類はおとなしくするだろう、しかし懲りない面々は次から次へと「振り込め」を仕掛けてくるだろう。そこでこれらのゲームの扱い方が問題になる、どうしますか。

この事案は歴史的に見て何なのでしょう、おろかなゲームの果てであるのか、単なる小鳥たちのざわめきなのか。ただ静かで平和であるここ政所夢塾の里山には影が差さないようにお頼み申し上げたいですね。でもグローバルの波はローカルにかぶってきます。元気な地産地消の知恵で何とか防ぎましょうよ。

## 次回は10月19日です

9月15日（月）朝日新聞に「にほんの里100選」現地調査の状況が報道されていました。それによると今年1～3月の候補地募集に4,474件の応募があつて、現在現地調査が進行中であること。

この応募の中にわが政所夢塾公園も入っておりますが今のところ現地調査の連絡はありません。調査は現地に詳しい研究者・NGO・自治体関係者らの意見を参考に400地点ほどに絞り込み、現地調査終了後に11月以降の選定委員会で論議され、09年1月に100選発表となるそうです。

私どもは放棄された畑に侵食した竹やぶとのたたかいであり、本来の人と自然の健全なあり方としての里山再生にしっかり向き合い、少子高齢化社会における三世代交流の場として元気な里山公園を築いていきたいと願っています。

おもかるさん日記から

### 夏のある日

午後 3 時可愛いくくりくり目の翔ちゃんが久し振りに弟の大輝君と一緒にママに連れられてやって来ました。仲良しの和紗ちゃんはまだ来ていません。

2年生の京香ちゃんはすぐに宿題を始めます。そこへ汗をかきながら4人の男の子たち、続いて3人、また2人とやってきます。すぐに二階へソフトボールを持って上がっていきました。

外では元気な声が・・・4時過ぎに柏原から赤ちゃんを連れてきたママがお兄ちゃんを迎えにきました。「5月に生まれたの」2ヶ月の赤ちゃんに1年生たちが興味津々「赤ちゃんがグーしているから僕チョキ」とこうちゃん。足をさすって「小さいなー、僕も弟がほしいなー」そしたら「お母さんに頼んでみたら」「うん」おもかるさんならではの赤ちゃんとのふれあい。

こどもたちは赤ちゃんにさわりまくり、どこの誰でもよいすぐに仲良しになります。きょうはノートに書かれたお名前だけで30人をこえました。

### 秋になって

ドタドタ、バタバタと男の子たちが入ってくる。女の子は赤ちゃん（あかさちゃん1.5ヶ月）の周りに集まってくる。

2歳の和紗ちゃんもお姉ちゃんたちの後をついて回ります。ママごとから何かしら「・・・ごと」が始まっています。

「おばちゃん〇〇とって」「違う、あれ」、A君が「おばちゃんお茶入れて」と結構注文の多いお店やさんです。

すると突然「年寄りを使うな！自分で入れろ」とリンちゃん。A君は「わかった」と自分でお茶をいれました。

おばさんたち一同、目をパチクリ

「リンちゃん誰がそんなこと言はるの」

リン君曰く「うちのばあちゃんが言うてる」へーさすがリンちゃんすごいね。

「お兄ちゃんになったリンちゃん、おばさん大好き！」



季節は巡り、夢塾公園にもコスモスが咲き乱れ秋の装い



「木之本」からの参加頂いた「三家さん」のお話しを拝聴する。



他の行事と重なり今回参加の少ない中、お久しぶりの「滝上さん」「小沢さん」有難うございました。



「ウコッケイ」飼育の三家さん



「24回目」丸2年が経過しました。毎回グラウンドワークだよりの愛読有難うございます。「写真の掲載で一言」作業をしながら撮影をし、スナップを沢山撮るのですが、発行時独断と偏見でレイアウト中多くの写真は「没」となります。毎回参加をして頂いて居ながら、紙面上に搭乘がない方には大変申し訳ありません。集合写真で勘弁をお願いします。

次回は十月十九日ですよろしく。



次回は「竹切りの旬」です「竹きりチェーンソー」を購入しました。活躍が期待されます。



何時も旬の食材でのご馳走有難う。「新米」「くりご飯」「芋イカ」ごちそう様



今回のアイドルは2年生の「実乃里ちゃん」



昼食は日ガス社員クラブをお借りして何時も有難うございます。

